

もう1つの演奏交流会

… ** << 打上げの様子 >> 居酒屋「はなの舞」にて(40名が参加) ** *



まずは乾杯



大田智美さんあいさつ…今日は別なところで JAA コンクールのことで会議が行われております。そちらへ行かなければならないので私たちの分まで楽しんで頂いて、また来年も再来年も頑張りたいと思います。



柴崎和圭さんあいさつ…JAA の会議に行くのでこのあと失礼しますけれども、みなさんは成功を祝って大いに飲んで、食べて、私たちの愚痴を言ってもいいし、今日は楽しんでください。そしてまた明日から頑張りますよ。実行委員の方お疲れさまでした。



田ノ岡三郎さんあいさつ…▼

僕も一人一人の演奏から学んだものがたくさんありますし、本当に心から楽しんだ演奏がたくさんありました。コンテストですから、他人に聴かせるんだったら、もう目をつぶっていても弾けるのが絶対1番だと思えます。なんですけど、コンテストだから攻める、その攻めた結果点数が下がるっていうことはあるんですけど、やっぱり攻められる会なので、本当にこういう機会を大事にして力を注いで結果はどうあれそれを利用してさらなるステージをめざして欲しいなと思えます。ですけど、皆さん頑張りました今日はありがとうございました。(拍手)



大塚雄一さんあいさつ…皆さんの演奏を聴いていて考えることがいろいろあって、自分もアコーディオンを弾いているので、一週間前に譜面が送られてきて、こんな難しいのみんな弾くのかなって思ったんですけどね、これは自分は何年練習しても弾けそうにないなっていうのがいっぱいあってね、すごいなと思ったんです。自分が弾けないものを審査するっていう、これは全然立場が違うところから見て、客観的に見るっていうこと、それなりに長いこと音楽やっているんで、アコーディオニストという立場を離れて音楽を (続く)

(前ページ続き)見る目で皆さんの演奏を見るしかないかなと思って今日やりました。結果はどうあれ皆さんすごく緊張していらしゃってとちった人もこれを弾きたいという気持ちのアップールというか高ぶりとかねそういうのがすごく伝わってきて自分もこういう気持ちを大切にしたいなとすごく思い知らされたところがあったので、立場は審査員と参加者になりましたけれども、最終的にはそれを感じてなく一緒にアコーディオンを楽しむ仲間になれたらいいなと思って今日1日楽しませていただきました。(拍手)



Mさん…もう50の手前ですので、アコーディオンは楽しいけれども、嬉しく弾ければいいという気持ちでやっていきます。(拍手)



Aさん…(2年後また出てくれるかな!)「いいとも」!(拍手)



Tさん…もうそろそろ出てもいいかなと思って出てみました。(拍手)



Hさん…初めての出場で賞を頂くなんで全く考えないんですね。当然のことながら、で、自分の名前を呼ばれたとき耳を疑っちゃいました。

実は、関東アコの実行委員会に入っているんですが、人前で弾くためには千回弾かなきゃダメだと言われましてね、言った人がこの中に入ってますよ、それで私4月ぐらいから星取表みたいに付けて1回練習するたびに“(レチェック)✓”入れて、そうしましたら1350回になったんです(おおー拍手)

きょう賞を頂いたのもその成果が出たんじゃないかなと思います。

ものすごく今日緊張しましてね、私の蚤の心臓がもうドキドキでしたけれども、出た後はそれが快感になってもう一度出てもいいかなと、ということで2年後また挑戦したい。(拍手)



Uさん…昨日から今日、明日もと、前泊して後泊してお金いくらかかったと思います。10万円かかりました。時間は10時間、昨日の朝7時に家を出て博多まで高速バスを4時間半、そこから新幹線で5時間地下鉄に乗って10万円、それは冗談ですけども、私の世界は終わったかなーと思いました。

今度はちょっと違う曲を選んでもう少し勉強しないと、独奏の世界にどっぷりだったので、今度は独奏をやめて歌伴の方で頑張りたいなということで、今までの自分にさようならをしたので帰ったら新しい出発で、スタートです!(拍手)



Tさん…中級の部で1位を頂いたことがあります。4年の間に、2年前の独奏の部で司会をさせていただいて、実行委員のアンサンブルに入れていただいたりして、今年初めて私の生徒が、初心者の部で出て入賞しました。

ここに残ってくれた阿部君も私が1年見ていたんです。今檜山先生の教室で練習していますけど上級の部で入選しました(拍手)教室が渋谷の駅から3分で、とてもいいところにあるので、あんまり宣伝とかしないんですけど、毎月毎月、新しい方が入ってきます。とっても嬉しいことに20代30代とかが多くて、あとは70代、60代も多い。退職されてアコーディオンに掛けるっていう方も多くて私もほんとに嬉しいなと。

自分もまだアコーディオンを始めて10年ぐらいなんですけども、短い時間でどんどんアコーディオンっていう楽器に向かっていったような事実もあるので、そういう自分の経験を活かして、子どもたちを育てているみたいな感じでいま生徒さんと関わっています。

今アコーディオンって人気 coming ているなって、こんなに何十人もアコーディオンを演奏する方が集まっていて、ブライダルでアコーディオン奏者が足りなくてすごく探し回って、ここにこんなに集まっているのもったいないなと、本当に若い人たちを育てていかないとすごく思っているんです。皆さんも是非盛り上げて育てていきましょう。

何か「知る人ぞ知る」というね、今日は中部アコーディオンクラブから来ていただいていますし、私たちが名古屋へ行きたいし、福岡や東北の方とかもいろんなところに行って楽しくアコーディオンを弾きたいと思います(拍手)

***** <ここからは飛び入りでの演奏の様子をお楽しみください> *****



口火を切ったのは株式会社トンボ楽器製作所の真野照久氏でした。軽快なミュゼットの曲を演奏。

演奏が始まると、斜め隣の部屋の客が集まってきて、アンコールで「さんぽ」(あるこ～あるこ～わたしは元気～)歌に手拍子で1人目から盛り上がりました。



2番手は、本番でゲスト演奏された銀羽功美男氏と平尾ありえ氏。演奏が始まると再び聴きに
来たグループで部屋は満員に、踊り始める一幕も。(前のページ写真右)



3番手は田ノ岡三郎氏

この流れの中では、横森先生の作曲したものがいいと思います。僕は昭和の音楽は横森先生
の人柄が伝わってくるかと思ひまして、生前2回お会いしたことがすごく心に残ってしまって、と
「ムーンライト・セレナーデ」を演奏。(オリジナルのリクエストが出たけれど)新しくミュゼットの曲
を作ったのでその曲でもいいですかと、「snowdrop」を演奏。



4番手は「メメリー」のデュオ

昨年初めて関東アコに出場、重奏の部で「Tango Pour Claude」を演奏、見事1位を受賞した2人
です。今年はそれぞれ独奏に出場、土屋恵さんは初心者部 B で第1位に、吉岡里紗さんが一般
中級の部で第3位に入賞されました。打ち上げの席でも「Tango Pour Claude」を演奏。



◀ 小川正浩さん
の演奏。

変な曲を弾
きますと、マイ
ケル・ジャクソ
ンの「Thriller」とアンコールで「スパイ大作戦」の
テーマ曲を演奏、手拍子で盛り上がります。

の「Thriller」とアンコールで「スパイ大作戦」の
テーマ曲を演奏、手拍子で盛り上がります。



最後、1本じめで閉める塚本実行委員長